



# アステラス製薬の 事業概要と成長戦略 ～持続的な成長に向けて～

2014年5月

アステラス製薬株式会社(証券コード:4503)

上席執行役員 財務担当(CFO) 榎田 恭正



# 注意事項

---

**資料中の業績見通し数値及び開発見通し等の将来に関する記述は、当社が現在得ている情報をもとになされた当社の判断に基づくものであり、既知あるいは未知のリスクや不確実な要素を含んでいます。実際の結果は、様々な要因によりこれら将来に関する記述内容とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。**

**そのような要因の例としては、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、新製品上市の遅延、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的財産権に対する侵害、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、これらに限定されるものではありません。**

**医薬品(開発中の物を含む)に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。**

# アステラスの強み

---

1

**新薬ビジネスに特化**

がん・泌尿器・移植

2

**高い研究開発力**

豊富な新薬候補群

3

**グローバルに事業展開**

約50ヶ国で自社販売

4

**強固な国内営業基盤**

国内シェア第2位

**持続的な成長の実現**

# 本日のご説明内容

---

1. アステラスの概要
2. 医薬品業界
3. ビジネスモデル
4. アステラスの成長戦略
5. 経営目標と株主還元
6. CSR(企業の社会的責任)経営

# 本日のご説明内容

---

- 1. アステラスの概要**
2. 医薬品業界
3. ビジネスモデル
4. アステラスの成長戦略
5. 経営目標と株主還元
6. CSR(企業の社会的責任)経営

# 会社概要

## 資本金

**1,030 億円** (2014年3月末現在)

## 連結売上高

(日本基準)

**1兆 1,645 億円** (2014年3月期)

## 医療用医薬品売上高

**国内 2位** (2012年度)\*

**世界 18位** (2012年度)\*\*

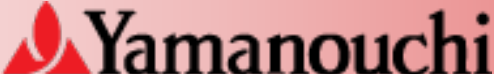


本社：東京都中央区

\* 出典：IMS医薬品市場統計

\*\* セジテム・ストラテジックデータ(株)の調査による

# アステラスの誕生



山之内製薬  
創業1923年



藤沢薬品工業  
創業1894年

ラテン語  
stella

大志の星  
aspired stars

ギリシャ語  
aster

英語  
stellar

先進の星  
advanced stars



astellas

2005年4月

アステラス製薬誕生

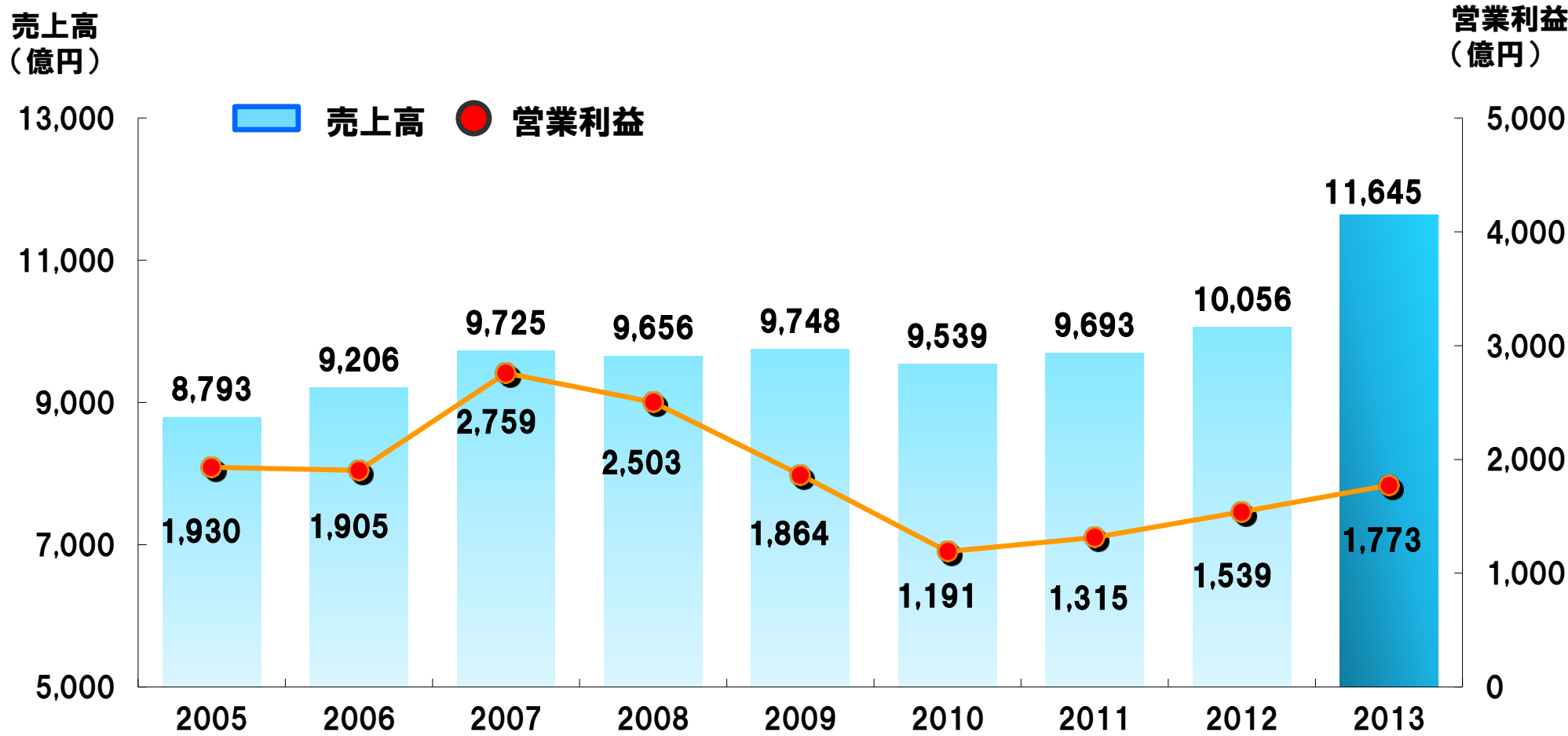
明日を照らす  
あす て

先端・信頼の医薬で、世界の人々の健康に貢献する

# 業績の推移

(日本基準)

3期連続となる増収・増益を達成





# アステラスの主力製品／新製品

## 免疫抑制剤 プログラフ

臓器移植における拒絶反応の抑制などに使われる免疫抑制剤



## 過活動膀胱治療剤 ベシケア

過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿および切迫性尿失禁の治療に用いられる薬剤



## 前立腺肥大症の排尿障害改善剤 ハルナール

前立腺肥大症に伴う排尿障害の治療に用いられる薬剤



## 前立腺がん治療剤 XTANDI

前立腺がんの治療に用いられる薬剤



## 消化性潰瘍・胃炎治療剤 ガスター

消化性潰瘍、胃炎などの治療に用いられる薬剤



## 2型糖尿病治療剤 スーグラ

SGLT2阻害剤として初めて承認を取得した2型糖尿病治療剤



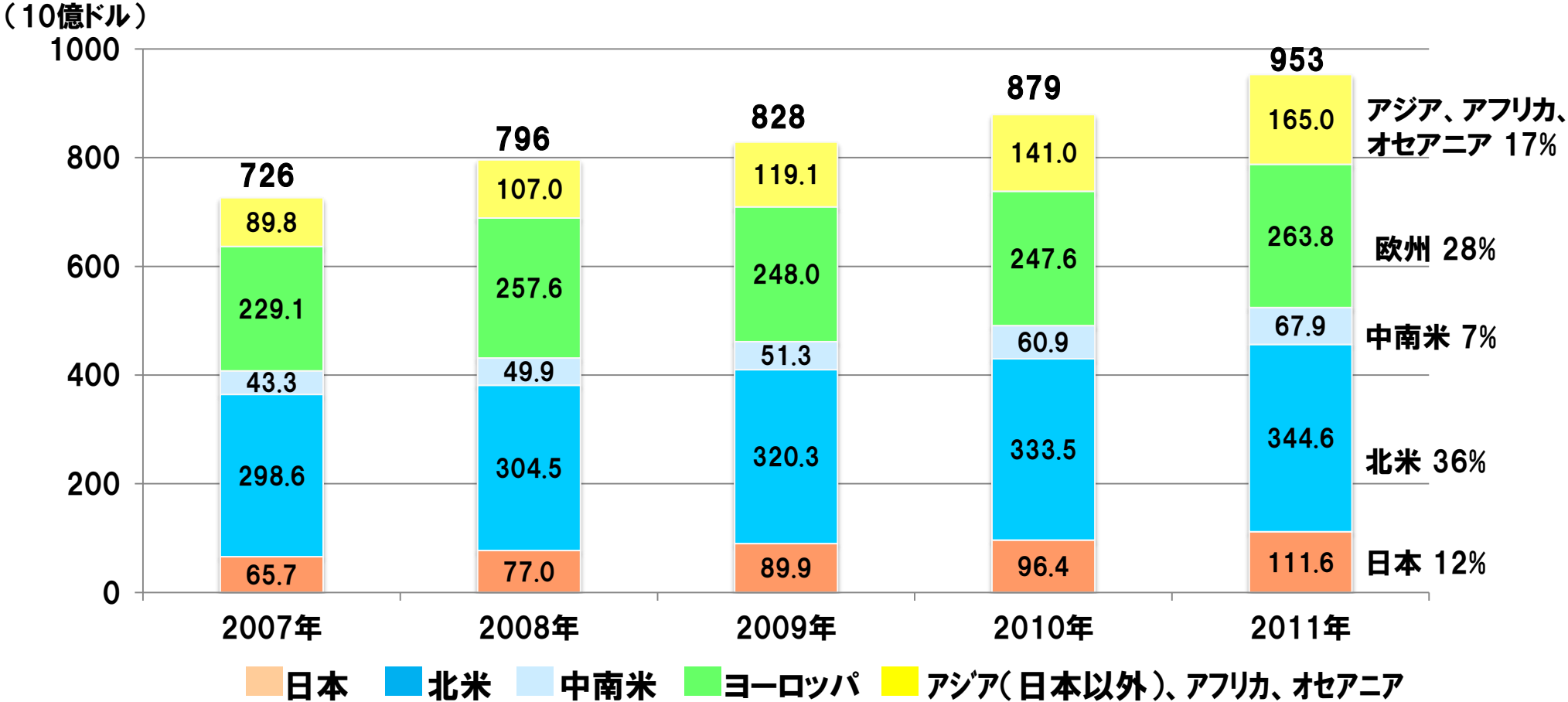
# 本日のご説明内容

---

1. アステラスの概要
- 2. 医薬品業界**
3. ビジネスモデル
4. アステラスの成長戦略
5. 経営目標と株主還元
6. CSR(企業の社会的責任)経営

# 世界の医薬品市場の推移

世界の市場は9,500億ドル  
日本は世界第2位(国別)

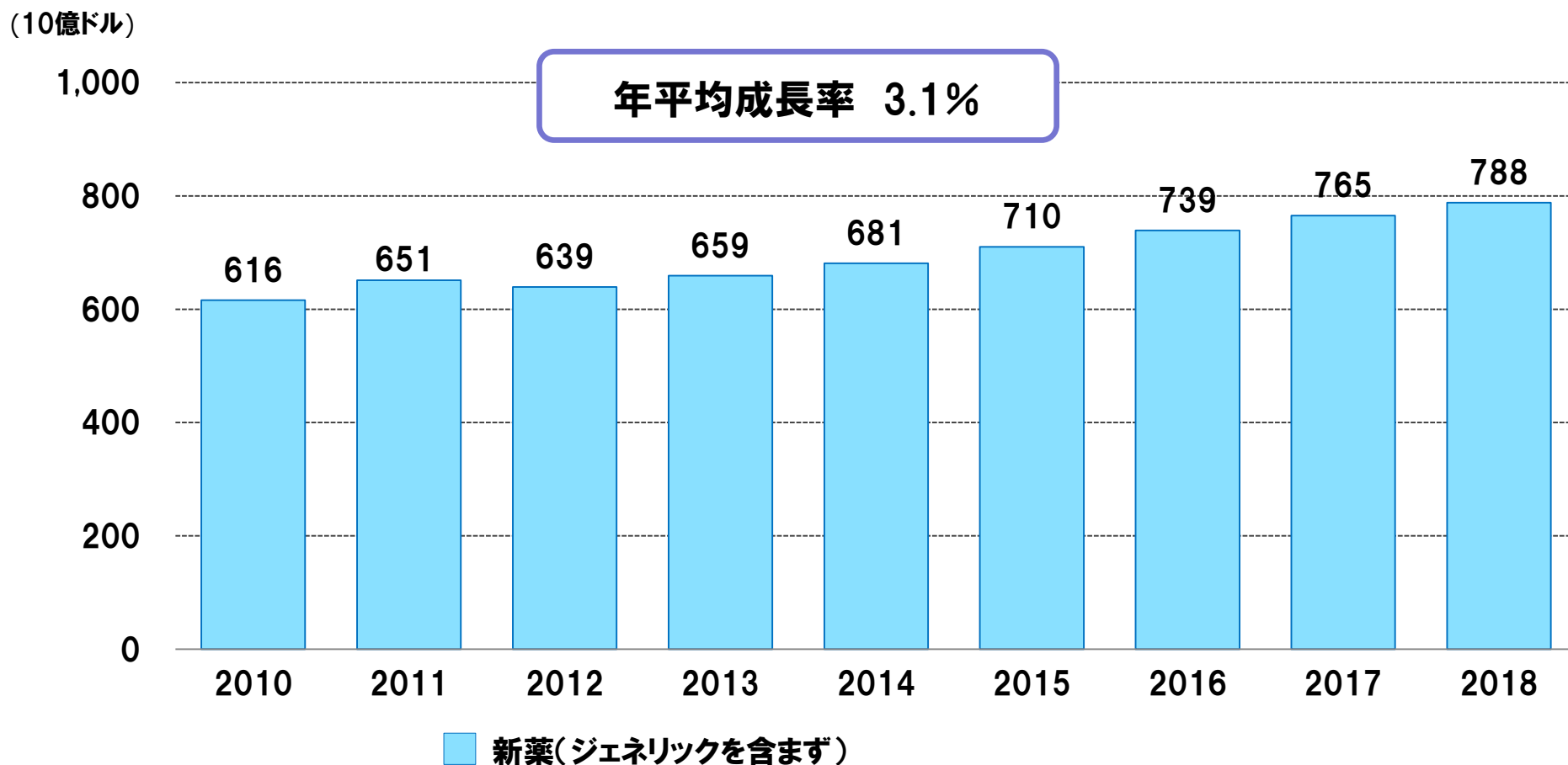


出所: ©2012IMS Health. IMS WorldReview (転写・複製禁止)  
出典: 日本製薬工業協会「DATABOOK 2013」

# 成長するマーケット

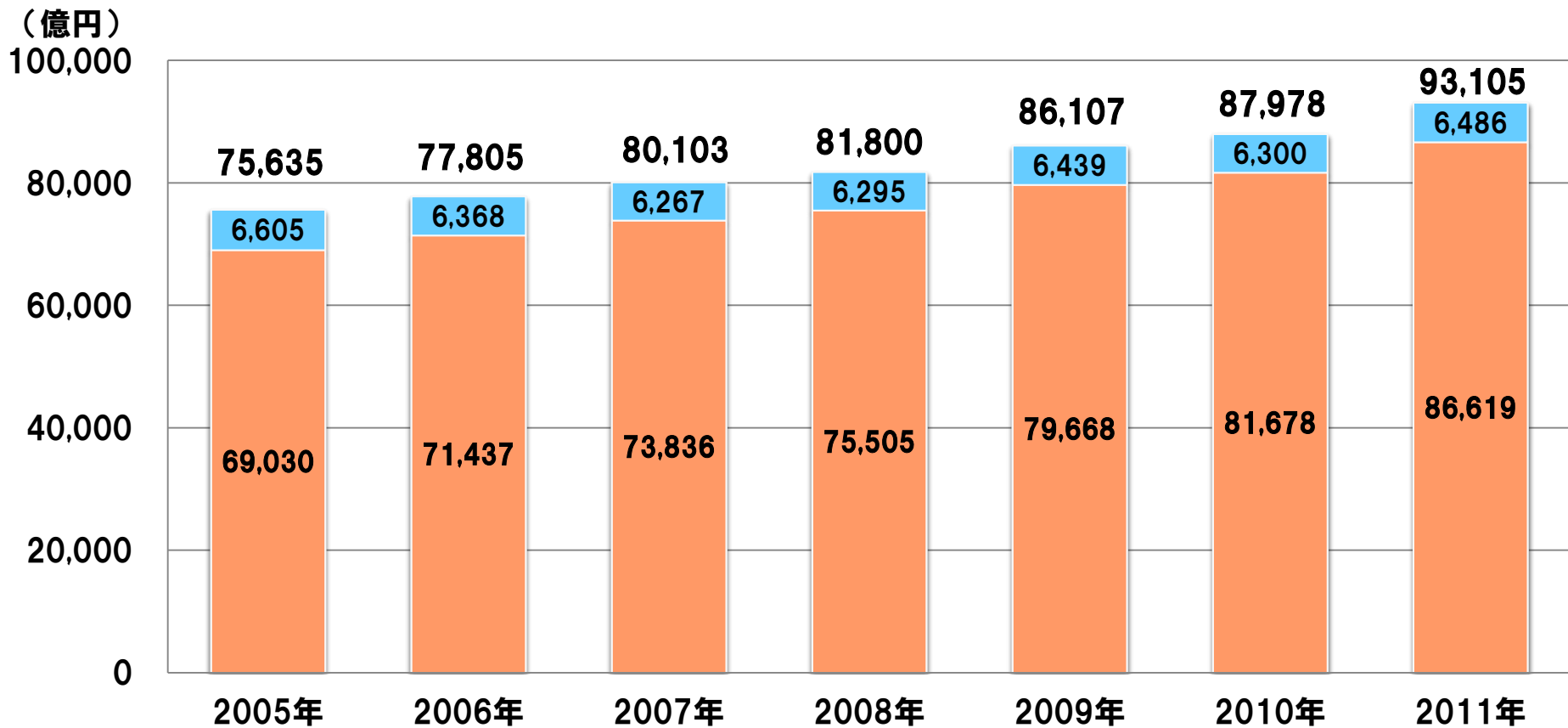
## 今後も着実な成長が見込まれる新薬市場

### 世界の市場規模予測（2010-2018年）



# 日本の医薬品市場の推移

日本の市場は9兆円超。9割以上が医療用医薬品



■ 医療用医薬品: 処方箋が必要な薬 ■ 一般用医薬品: 薬局やドラッグストアで購入して服用できる薬

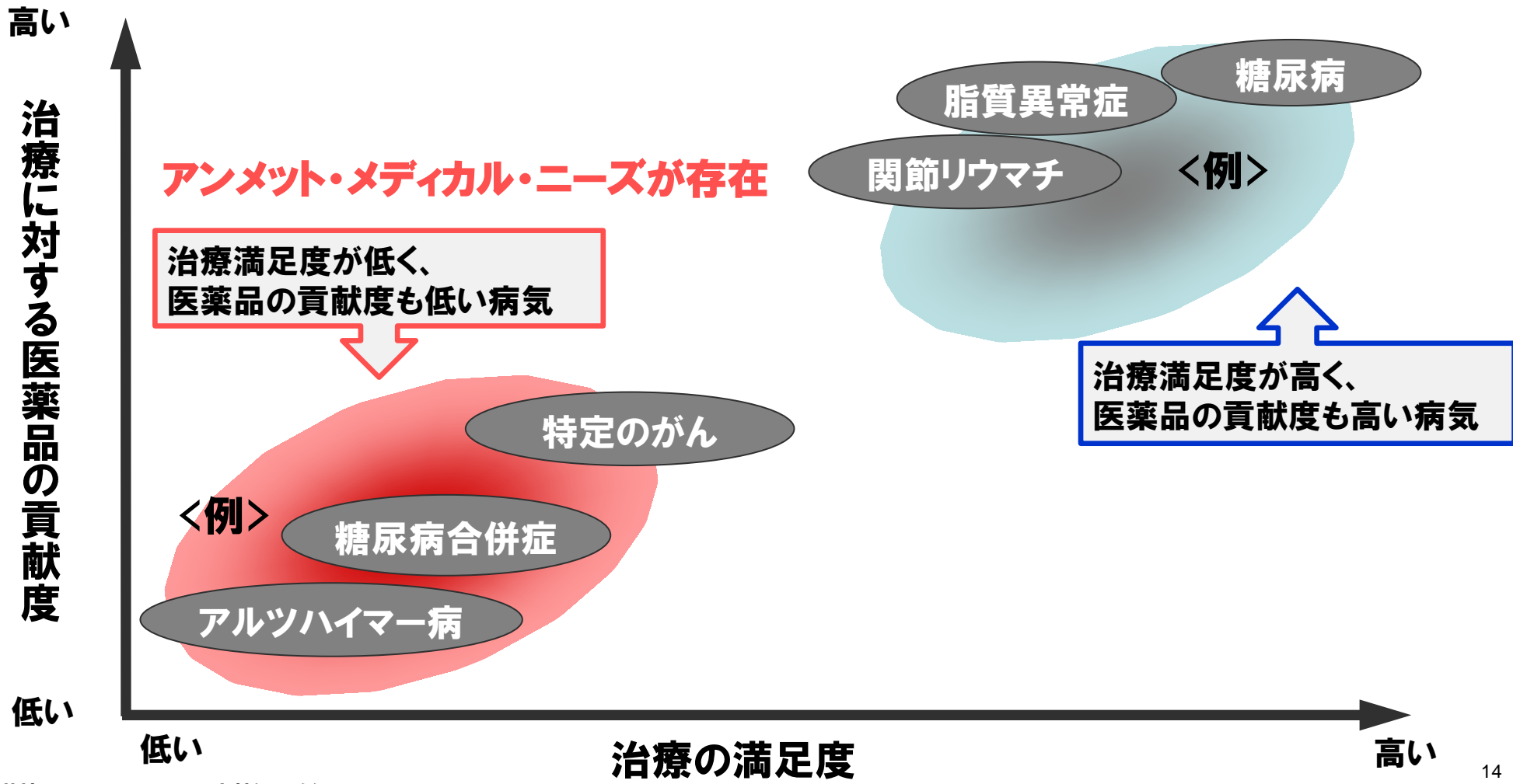
# 本日のご説明内容

---

1. アステラスの概要
2. 医薬品業界
- 3. ビジネスモデル**
4. アステラスの成長戦略
5. 経営目標と株主還元
6. CSR(企業の社会的責任)経営

# 満たされていない医療ニーズ(アンメット・メディカル・ニーズ)

現在の治療法や医薬品では十分に治療上の満足度を充足していない病気が多数存在する



# 私たちのビジネス

---

治療満足度の低い疾患領域での新薬の開発に  
経営資源を集中

医療用医薬品  
ビジネスにこだわる

新薬  
ビジネスにこだわる



# 目指すビジネスモデル

## グローバル・カテゴリー・リーダー(GCL)

- グローバル**：全世界に製品提供
- カテゴリー**：専門性の高い複数の領域
- リーダー**：リーダーとしての競争優位を確立

### 現在のGCL

泌尿器疾患

移植

### 次のGCL

がん

### 将来のGCL

免疫疾患および  
感染症  
精神・神経疾患  
糖尿病合併症  
および腎疾患

# 本日のご説明内容

---

1. アステラスの概要
2. 医薬品業界
3. ビジネスモデル
- 4. アステラスの成長戦略**
5. 経営目標と株主還元
6. CSR(企業の社会的責任)経営

# 成長戦略

①

## 領域戦略

泌尿器領域、移植領域事業の維持・拡大  
がん領域事業を第3のGCLへ

②

## 地域戦略

各地域でバランスのとれたビジネスの拡充  
新興国市場への更なる投資

③

## R&D（研究開発） イノベーション 戦略

重点研究領域に経営資源を集中  
グローバル開発体制を活かした新薬候補群の拡充

# 泌尿器領域：ベシケア・ミラベグロン

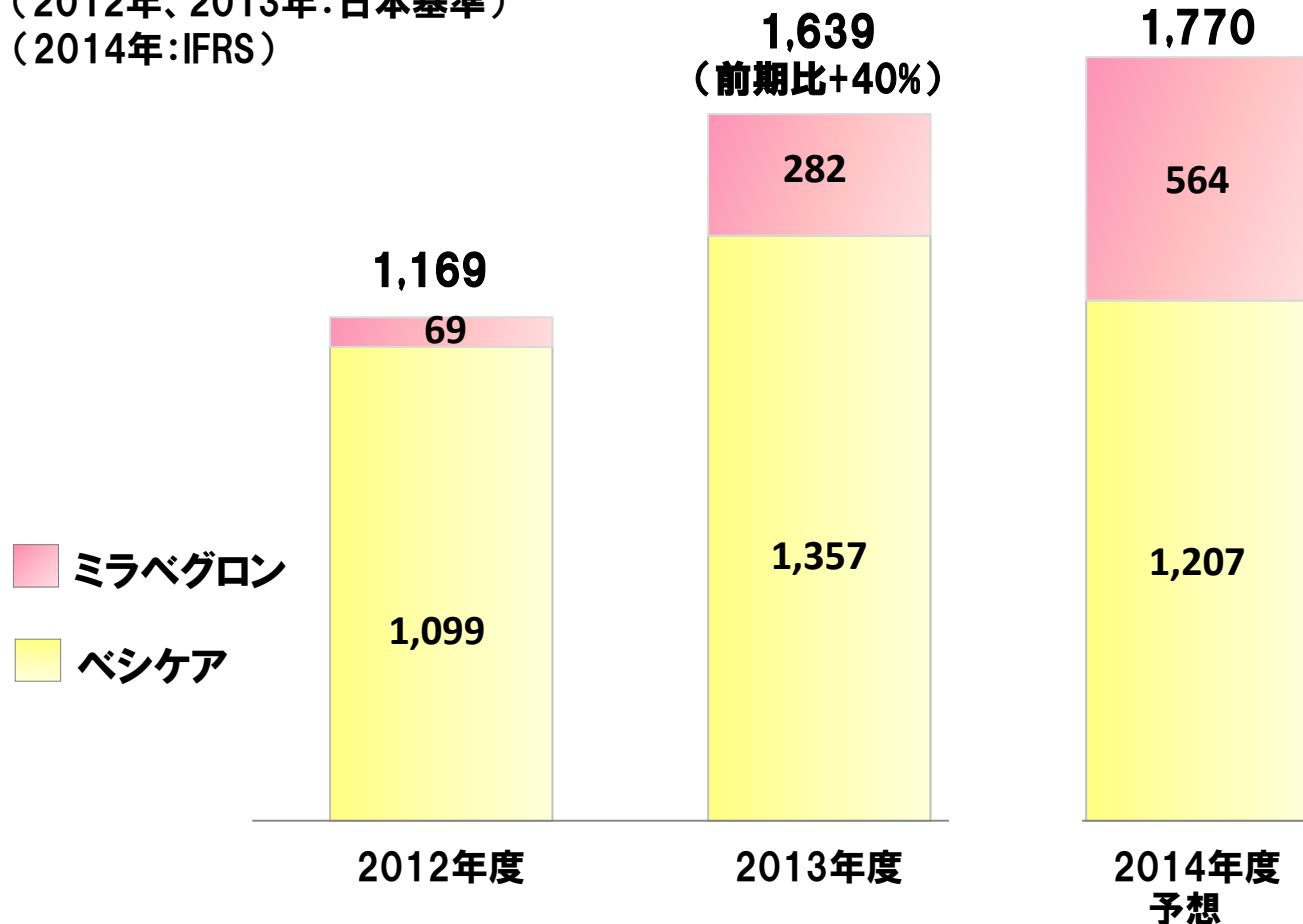
①領域戦略

世界の過活動膀胱市場でのNo.1ポジションを強化

連結売上高(億円)

(2012年、2013年：日本基準)

(2014年：IFRS)



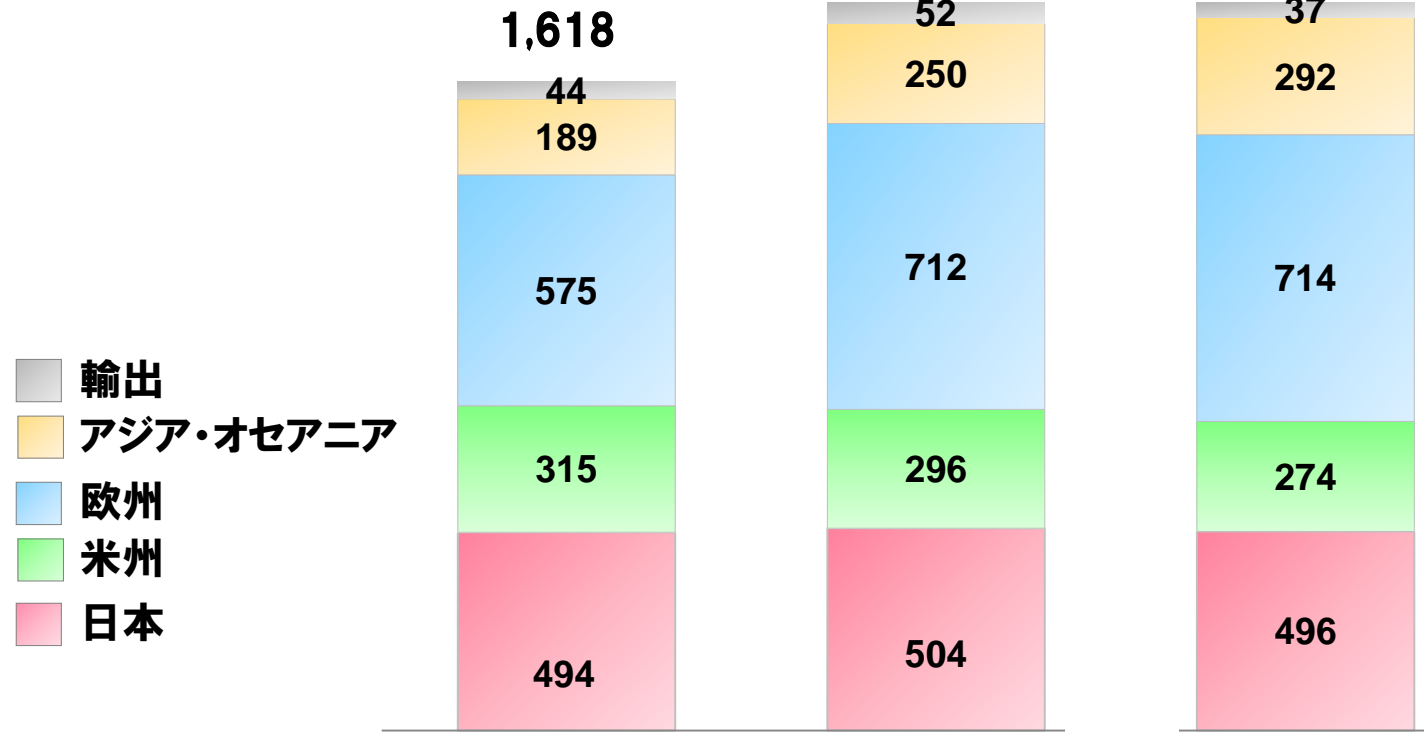
過活動膀胱治療剤  
ベシケア



過活動膀胱治療剤  
ミラベグロン

## アジア・オセアニアでは引き続き売上を拡大

連結売上高(億円)  
 (2012年、2013年: 日本基準)  
 (2014年: IFRS)



2012年度                      2013年度                      2014年度 予想

プログラフ、アドバグラフ/グラセプター/アスタグラフXLの売上合計



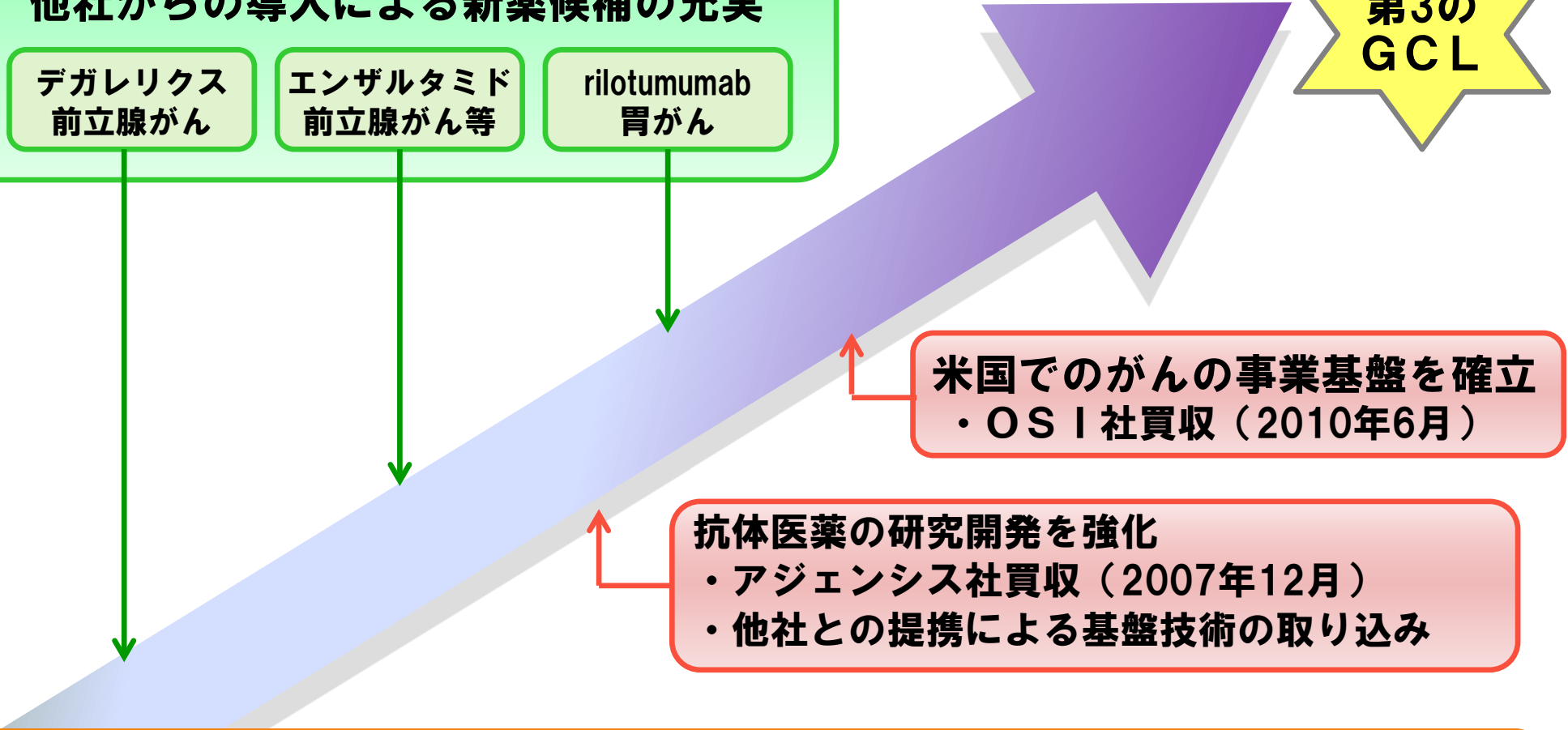
**プログラフ**  
 臓器移植における拒絶反応の抑制などに使われる免疫抑制剤

# がん領域：第3の柱へ

①領域戦略

**他社からの導入による新薬候補の充実**

- デガレリクス  
前立腺がん
- エンザルタミド  
前立腺がん等
- rilotumumab  
胃がん



**米国でのがんの事業基盤を確立**  
・OSI社買収（2010年6月）

**抗体医薬の研究開発を強化**  
・アジェンシス社買収（2007年12月）  
・他社との提携による基盤技術の取り込み

2006年  
重点領域に設定

**自社研究体制の整備・強化**

# がん領域：今後を牽引する主力製品

## エリガード

前立腺がん治療剤



## タルセバ

非小細胞肺がん、膵臓がん治療剤



新製品

## XTANDI

前立腺がん治療剤

- 2012年9月に米国で発売
- 2013年7月に欧州で発売
- 2014年3月に日本で承認



新製品

## ゴナックス

前立腺がん治療剤

- 2012年10月に日本で発売



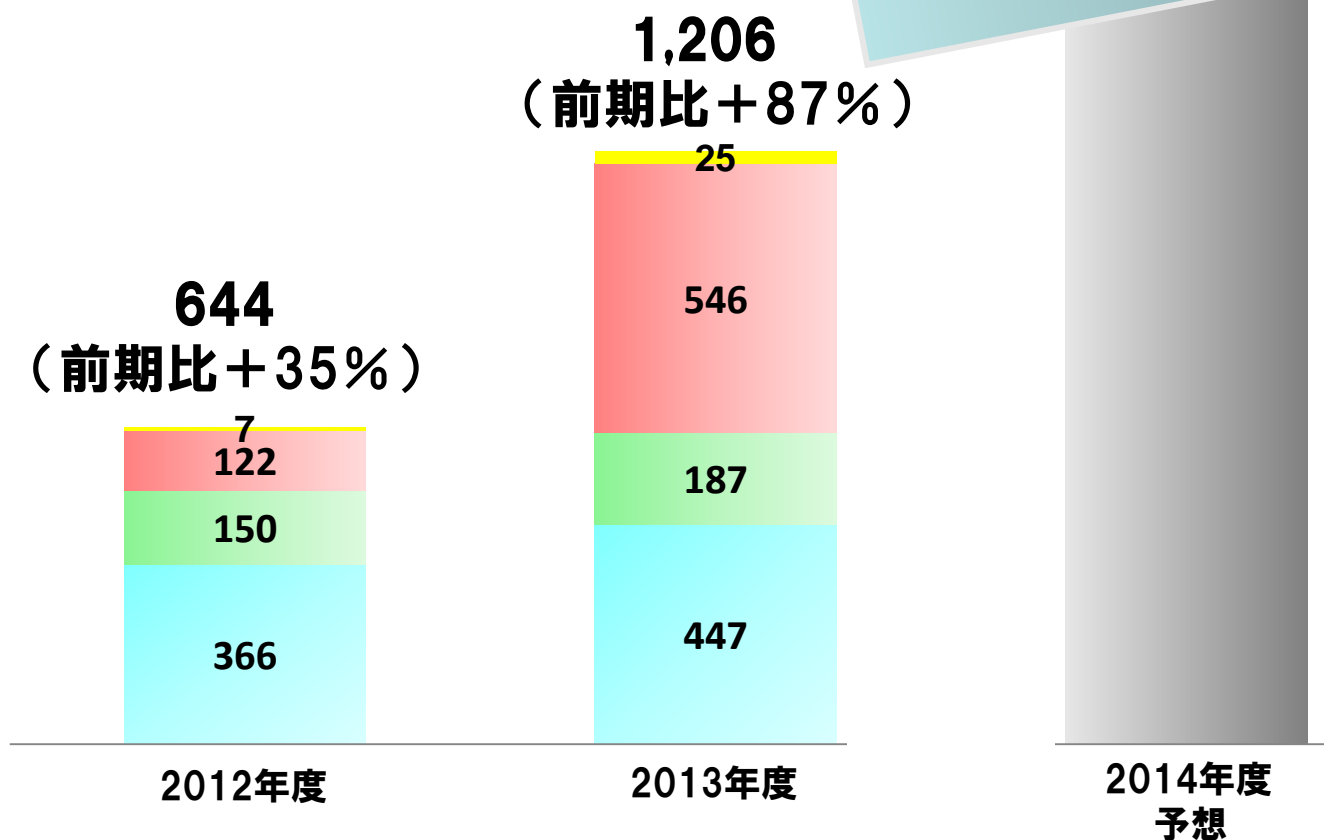
## がん領域：主力製品・新製品の成長

新製品XTANDIの牽引により、売上を大きく拡大

連結売上高(億円)

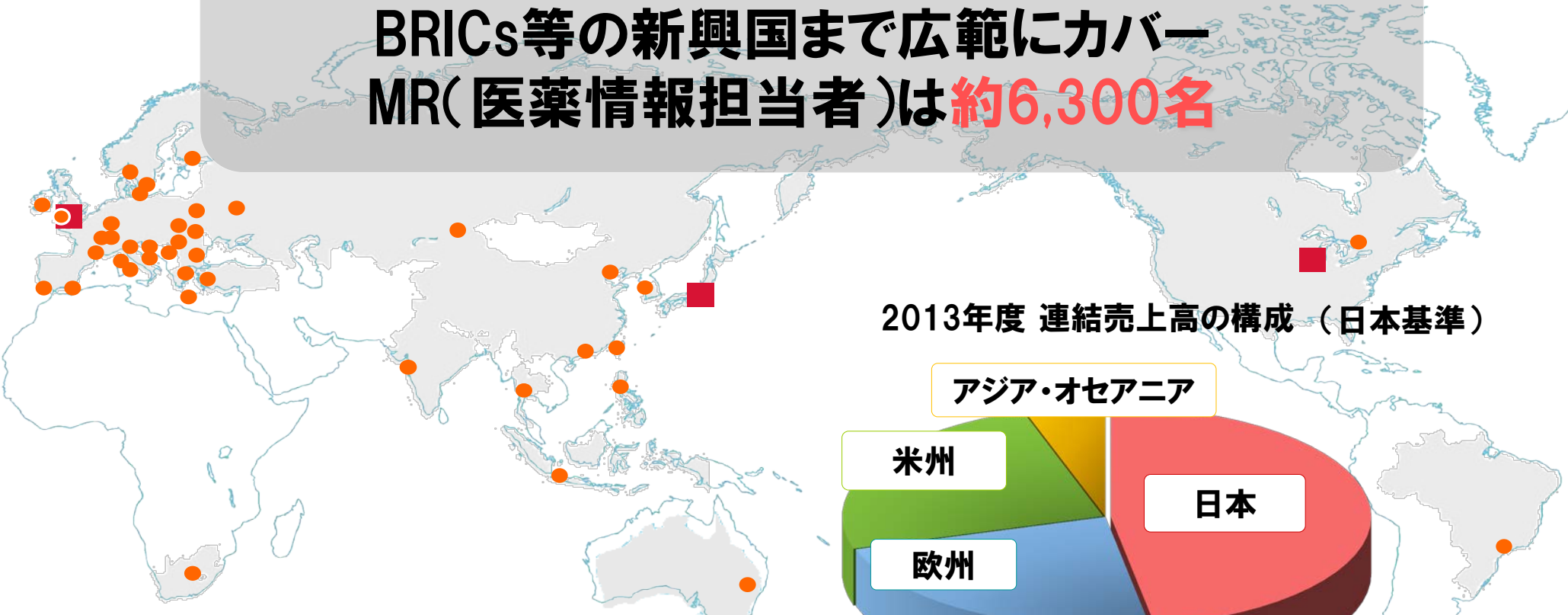
(2012年、2013年：日本基準)

- ゴナックス
- XTANDI
- エリガード
- タルセバ



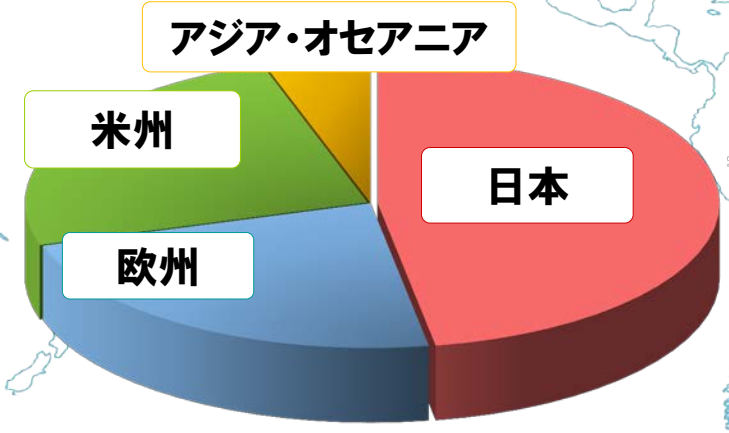


**世界約50ヶ国で自社販売**  
**BRICs等の新興国まで広範にカバー**  
**MR(医薬情報担当者)は約6,300名**



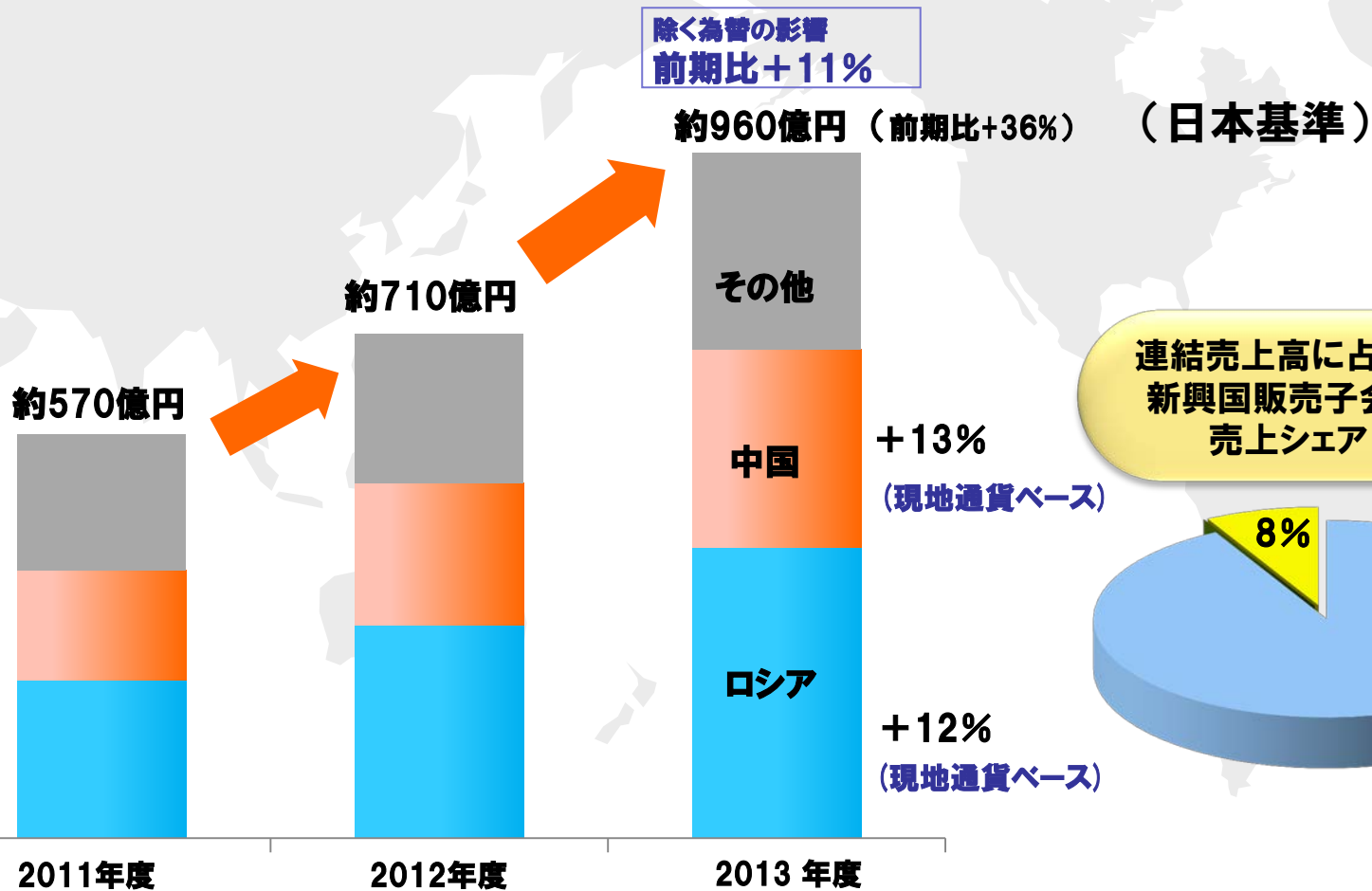
■ 本社・地域本社機能  
● 販売子会社 販売拠点(欧州)

2013年度 連結売上高の構成 (日本基準)



米州: 北米及び中・南米、欧州: 欧州、中近東及びアフリカ

### 中国・ロシアを中心に新興国市場で成長



\*その他:  
IMS社が定義した医薬品新興市場に  
所在する当社販売子会社の売上計  
ブラジル、インド、トルコ、タイ、ベトナム、  
インドネシア、ポーランド、ルーマニア、  
南アフリカ  
(中国、ロシアを除く)

## 5つの疾患領域に経営資源を集中

泌尿器疾患

免疫疾患(移植を含む)  
および感染症

がん

精神・神経疾患

糖尿病合併症  
および腎疾患

# 開発最終段階にある主な新薬候補群



<p><b>泌尿器疾患</b></p>	<p>ソリフェナシン/ミラベグロン 過活動膀胱における尿意切迫感 頻尿及び切迫性尿失禁</p>	<p>ソリフェナシン 神経因性膀胱等(小児)</p>	
<p><b>免疫疾患 (移植を含む) および感染症</b></p>	<p>セルトリズマブベゴル 関節リウマチ(メトトレキサート未治療)</p>	<p>イサブコナゾール 侵襲性アスペルギルス、 カンジダ血症/侵襲性カンジダ症</p>	
	<p>ASP7374 季節性インフルエンザの予防</p>	<p>ASP0113 造血細胞移植時の 感染予防ワクチン</p>	
	<p>フィダキノマイシン 感染性腸炎</p>		
<p><b>がん</b></p>	<p>エンザルタミド 前立腺がん(非転移性)</p>	<p>rilotumumab 胃がん</p>	<p>エンザルタミド 前立腺がん(化学療法未治療)*</p>
	<p>デガレリクス 前立腺がん(3ヶ月製剤)</p>	<p>エルロチニブ 小児上衣腫</p>	<p>*米国、欧州で申請中</p>
<p><b>その他</b></p>	<p>evolocumab 脂質異常症</p>	<p>roxadustat 慢性腎疾患に伴う貧血</p>	
	<p>romosozumab 骨粗鬆症</p>		

## 外部資源活用による創薬研究の新規領域への拡大

- **ミトコンドリア関連疾患**や**骨格筋疾患領域**などの新規領域を開拓  
(マイトカイン社、サイトキネティックス社との提携)

## 再生医療への取組み

- **創薬応用の研究**  
(iPS細胞を活用した安全性試験 等)
- **研究機関との提携**  
(スーパー特区でのiPS細胞医療応用加速化プロジェクトへの参画 等)
- **細胞医療**に本格的に取り組む

この他、治療ワクチンなどの新たな基盤技術にも挑戦

# アステラスの強み

---

1

**新薬ビジネスに特化**

がん・泌尿器・移植

2

**高い研究開発力**

豊富な新薬候補群

3

**グローバルに事業展開**

約50ヶ国で自社販売

4

**強固な国内営業基盤**

国内シェア第2位

**持続的な成長の実現**

# 本日のご説明内容

---

1. アステラスの概要
2. 医薬品業界
3. ビジネスモデル
4. アステラスの成長戦略
- 5. 経営目標と株主還元**
6. CSR(企業の社会的責任)経営

# 2014年度業績予想

## 2014年度も増収・増益を予想

(国際会計基準(IFRS)コアベース)

	2013年度	2014年度 予想	増減率	(億円)
<b>売上高</b>	<b>11,399</b>	<b>11,920</b>	<b>+4.6%</b>	
<b>研究開発費 売上高比率</b>	<b>1,915 16.8%</b>	<b>1,980 16.6%</b>	<b>+3.4%</b>	
<b>営業利益</b>	<b>1,863</b>	<b>2,080</b>	<b>+11.7%</b>	
<b>当期純利益</b>	<b>1,328</b>	<b>1,540</b>	<b>+16.0%</b>	
<b>EPS (円)</b>	<b>59.11</b>	<b>69.02</b>	<b>+16.8%</b>	

\*コアベース: 会社の経常的な収益性を示す指標として開示。コアベースに基づく業績は、国際会計基準(IFRS)フルベース(調整前)の業績から非経常的な項目を調整項目として除外。

◆ 為替レート

	期中平均レート	2013年度	2014年度 予想
ドル		100円	100円
ユーロ		134円	140円



## 投資家層の拡大と当社株式の流動性の向上を図る

### 2014年2月に公表した株式分割の内容

- 普通株式を1株につき5株の割合をもって分割
- 基準日：2014年3月31日
- 効力発生日：2014年4月1日

\*2014年3月期の配当予想の変更なし（1株当たりの期末配当金70円）

\*2014年3月期の期末配当金については、株式分割前の株式数を基準に実施

\*単元株式数(100株)は変更なし

# 利益配分等に関する方針

- 成長を実現するための事業投資を最優先
- 中長期的な利益成長に基づき、配当は安定的かつ持続的に向上
- 自己株式取得は機動的に実施

	2012年度	2013年度	2014年度(予想)
コアEPS*	51.73円	59.11円	69.02円
一株配当	26円	27円 (予定)	29円
ROE*	8.0%	7.4%	—
DOE*	5.2%	5.0% (予定)	—
自己株式取得 (単元未満株式買取分を除く)	54百万株 494億円	25百万株 300億円	機動的に実施
自己株式消却	—	55百万株	25百万株 (予定)

\*国際会計基準(IFRS)

[注] 2014年4月1日を効力発生日として普通株式1株を5株に分割する株式分割を考慮した数値  
(2012年度、2013年度の数値は便宜的に株式分割後ベースに引き直して記載)、  
実際の一株配当は、2012年度は130円、2013年度は135円(予定)。

## 資本効率と株主還元の更なる向上を図る

### 2014年5月に公表した自己株式取得の内容

- 取得株数（上限）：24百万株
- 取得金額（上限）：300億円
- 取得期間：2014年5月13日から2014年6月23日

#### \*2014年3月31日時点の自己株式の保有状況

（便宜的に株式分割後ベースに引き直して記載）

発行済株式総数(自己株式を除く)	2,284,823,175株
自己株式数	53,681,395株

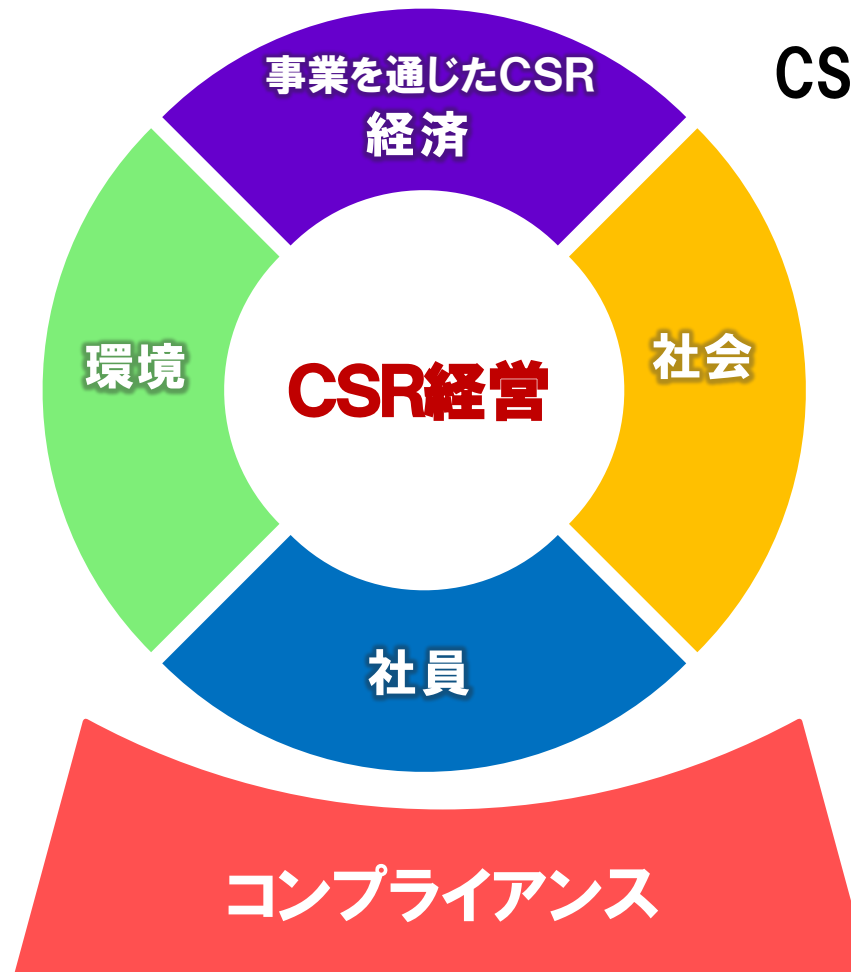
# 本日のご説明内容

---

1. アステラスの概要
2. 医薬品業界
3. ビジネスモデル
4. アステラスの成長戦略
5. 経営目標と株主還元
6. **CSR(企業の社会的責任)経営**

# アステラスのCSR経営

## CSR経営の5つのフィールド



CSR(企業の社会的責任)

# CSR(企業の社会的責任):取り組みのご紹介

## 保健医療へのアクセス問題に挑戦

Access to Health

### 顧みられない熱帯病

- 主に開発途上国の熱帯地域、貧困層を中心に蔓延している寄生虫、細菌ウィルス感染症で、世界で約10億人以上が感染



- アステラスの取り組み  
自社の強み(技術・研究ノウハウ)の活用と高い専門性を有する大学・研究機関等との協働により、早期の新薬創出を目指す



明日は変えられる。